

- 注)  潜在ニーズの把握のための項目として設定することが必要。  
 潜在ニーズの詳細な分析に必要な項目であり、自治体の必要性に応じ設定。  
 基本的にニーズ推計には直接用いないが、ニーズの背景等を分析するために、自治体の必要性に応じ設定。

### 1. 封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてお伺いします。

問1 封筒のあて名のお子さんの生年月をお伺いします。

平成   年   月 生まれ

問2 封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（平成〇年4月1日現在の年齢）をご記入下さい。

人 末子の年齢  歳

問3 宛名のお子さんとの同居・近居（概ね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。統括はあて名のお子さんから見た関係です。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 父母同居    2. 父同居のひとり親家庭    3. 母同居のひとり親家庭    4. 祖父同居  
5. 祖母同居    6. 祖父近居    7. 祖母近居    8. その他

問4 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる  
 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる  
 3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる  
 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる  
 5. いずれもない

問4-1は、問4で「1.」または「2.」を選ばれた方にお伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

問4-1 祖父母に預かってもらっている状況について、お伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母が孫を預かることについては、特に問題はない  
 2. 祖父母の身体的負担が大きく心配である  
 3. 祖父母の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である  
 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい  
 5. その他

問4-2は、問4で「3.」または「4.」を選ばれた方にお伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

調査対象世帯の状況を把握するためのフェイス項目群。クロス集計に活用する機会が多いと考えられるため設定してあるが、当該自治体の調査趣意に応じて取捨選択すること。

宛名の子どもの年齢を把握。年齢別の推計ニーズ量を算出したい場合に活用。

世帯の子どもの人数及び末子の年齢を把握。将来の母親の再就職時期等を把握したい場合に活用。

家庭内の支援の可能性の観点から同居の祖父母等の有無を把握。核家族が三世帯家族か、ひとり親世帯かを区別する。家族類型の設定に活用。

友人や地域の支援の可能性の観点から把握。日常的あるいは緊急時に預け先があるかどうかを把握する。家族類型を詳細に設定したい自治体で活用。

ライフスタイルの変容希望（身内や友人・知人からの支援に関する将来の考え方）を把握する。ニーズ推計において、家族類型を詳細に設定したい自治体では、潜在家族類型設定に活用。

問4-2 友人や知人に預かってもらっている状況について、お伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない  
 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である  
 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である  
 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい  
 5. その他

問5 あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方として、あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。統括は宛名のお子さんから見た関係です。

1. 主に父親    2. 主に母親    3. 主に祖父母    4. その他

問6 お住まいの地区としてあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。（必要に拘り）

1. 〇〇    2. 〇〇    3. 〇〇    4. 〇〇  
5. 〇〇    6. 〇〇    7. 〇〇    8. 〇〇

### 2. 封筒の宛名のお子さんの親御さんの就労状況についてお伺いします。

問6 現在の就労状況を（自営業、家族従事者含む）お伺いします。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。併せて、〔 〕に数字の記入をお願いします。

(1) 父親 【母子家庭の場合は記載不要】

1. 就労している（フルタイム；育児・介護休業中は含まない）  
 → 1週当たりの平均的就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間についてお伺いします。  
 【 1週当たり〔 〕時間、帰宅時間〔 〕時間 】  
 2. 就労している（フルタイムだが育児・介護休業中）  
 3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）  
 → 就労時間についてお伺いします。  
 【 1週当たり〔 〕日 ・ 1日当たり〔 〕時間 】  
 → フルタイムへの転換希望がありますか。  
 【 ① 希望がある    ② 希望があるが予定はない    ③ 希望はない 】  
 4. 以前は就労していたが、現在は就労していない  
 5. これまでに就労したことがない

問4-1に同じ

保護等の発生ニーズにもっとも影響が大きい保護者を特定。

保護等のニーズを地区別に集計するために把握。集計段階で行政の地区区分に集計するなどの工夫が必要。

保護者の就労の状況を把握。ニーズ推計において家族類型の作成に活用。

就労時間、帰宅時間については調査ニーズの推計には使用しないが、働き方に関する現状の把握や地域住民の生活実態の把握に活用。その場合、合わせて父母の「家事・育児時間」や「子どもと過ごす時間」、「1週間のうち夕食を家族で取る回数」などを把握することも考えられる。

(2) 母親

- 就労している（フルタイム：産休・育休・介護休業中は含まない）  
→ 1週当たりの平均的就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間についてお伺いします。  
【 1週当たり〔 〕時間、帰宅時間〔 〕時間 】
- 就労している（フルタイムだが産休・育休・介護休業中）
- 就労している（パートタイム、アルバイト等）  
→ 就労時間についてお伺いします。  
【 1週当たり〔 〕日、1日当たり〔 〕時間 】  
→ フルタイムへの転換希望がありますか。  
【 ① 希望がある ② 希望があるが予定はない ③ 希望はない 】
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまでに就労したことがない

問7は、問6の「(2) 母親」で「4. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「5. これまでに就労したことがない」を選ばれた方にお伺いします。該当しない方は、問8へお進みください。

問7 母親の就労希望はありますか。あてはまる答えの番号に1つだけ〇をつけてください。

- 有（すぐくでも若しくは1年以内に希望がある） (← 問7-1へ)
- 有（1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい） (← 問7-1へ)
- 無 (← 問8へ)

問7-1及び問7-2は、問7で「1. 有（すぐくでも若しくは1年以内に希望がある）」、「2. 有（1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）」を選ばれた方にお伺いします。

問7-1 就労希望の形態はどのようなものですか。あてはまる答えの番号に1つだけ〇をつけてください。（パート、アルバイトを希望の方は一週当たり日数及び一日当たり時間も記入してください。）

- フルタイムによる就労
- パートタイム、アルバイト等による就労（週当たり〔 〕日・一日当たり〔 〕時間）

問7-2 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。もっとも近い答えの番号に1つだけ〇をつけてください。

- 保育サービス（\*）が利用できれば就労したい
- 働きながら子育てできる適当な仕事がない
- 自分の知識、能力にあう仕事がない
- 家族の考え方（親族の理解が得られない）等就労する環境が整っていない
- その他（ ）」

（\*）この調査において「保育サービス」とは、【認可保育園、認定子ども園、家庭的な保育（いわゆる保育ママ）、事業所内保育施設、市区町村等自治体の認定・認定保育施設、その他の保育施設、幼稚園（通常の就園時間）、幼稚園（通常の就園時間を延長して預かるサービス）、ベビーシッター、ファミリーサポートセンターで、定期的に受けているサービス】としています。以下の設問も同様の定義です。サービスの説明については、問9-1を参照してください。

母親の就労希望について把握。ニーズ推計において、ライフスタイルの変更希望の1つの要素として、家族類型（変更希望）の設定に活用（問7、問7-1）。

就労希望のうち、保育サービスが前提と考える者の把握等に活用。

問7-3は、問7で「2. 有（1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）」を選ばれた方にお伺いします。

問7-3 宛名のお子さんも含めて一番小さい子が何歳になったときに就労を希望されますか。

歳になったとき

母親のみならずすべてにお伺いします。

問8 宛名の宛名のお子さんの出産前後（前後それぞれ1年以内）に離職をしましたか。あてはまる答えの番号に1つだけ〇をつけてください。

- 離職した (← 問8-1へ)
- 継続的に働いていた（転職も含む） (← 問8へ)
- 出産1年前にすでに働いていなかった (← 問9へ)

問8-1は、問8で「1. 離職した」を選ばれた方にお伺いします。「2.」「3.」を選ばれた方は、問9にお進みください。

問8-1 仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたか。次の中から、あなたのお考えにもっとも近い答えの番号に1つだけ〇をつけてください。

- 保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた
- 職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた
- 保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた
- 家族の考え方（親族の理解が得られない）等就労する環境が整っていない
- いずれにしてもやめていた
- その他（ ）」

3. 保育サービスの利用についてお伺いします。

問9はすべての方にお伺いします。

問9 宛名のお子さんのお子さんの現在の保育サービス（P3の定義参照）の利用の有無についてお伺いします。日頃、定期的にお子さんを預けるサービスを利用していらっしゃいますか。

- 利用している (← 問9-1へ)
- 利用していない (← 問9-2へ)

ニーズ推計には、育児休業等両立支援策の充実による継続就業の増加や、そのことによる〇歳児、1歳児保育ニーズの増加に反映させることが可能。問8、問8-1を用いて、支援充実に伴う「継続就業」の変化を把握可能。

就学前児童票(案)

就学前児童票(案)

問9-1～9-3は、問9で「1. 利用している」を選ばれた方にお伺いします。

問9-1 封筒の宛名のお子さんは、現在、どのような子育て支援サービスを利用していますか。不定期に利用されるものも含めてお答えください。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。

【日中の定期的保育】

- |  |                                       |
|--|---------------------------------------|
| 1. 認可保育所<br>(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)              | 8 幼稚園(通常の就園時間)                        |
| 2. 家庭的な保育<br>(保育ママ：保育者の家庭等で子どもを預かるサービス)                    | 9 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かるサービス)      |
| 3. 事業所内保育施設<br>(企業が従業員用に運営する施設)                            | 10. ベビーシッター                           |
| 4. 自治体の認証・認定保育施設<br>(認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)             | 11. ファミリーサポートセンター(地域住民による子どもの預かりサービス) |
| 5. 認定こども園<br>(共通利用時間のみ保育の利用)<br>(保育施設と幼稚園が一体化した施設)         |                                       |
| 6. 認定こども園<br>(共通利用時間(4時間程度)以上の保育の利用)<br>(保育施設と幼稚園が一体化した施設) |                                       |
| 7. その他の保育施設  |                                       |

子育て支援サービスの利用実態を把握。通常保育等のサービス利用率算出に用いる。当該自治体で実施されているサービスを、利用者にかける名称で示す等の工夫が必要。

問9-2及び問9-3は、問9-1で「1」～「9」の選択肢を選んだ方にお伺いします。

問9-2 現在の保育サービスの利用状況についてお伺いします。  
1週あたり何日、1日あたり何時間(何時から何時まで)保育サービス(延長保育なども含めず)を利用していらっしゃいますか。枠内に具体的な数字までお答えください。時間は、必ず9:00～18:00(例)のように24時間制でご記入ください。

1週あたり  日 1日あたり  時間 (  時～  時 )

問9-3 利用されている理由についてお伺いします。主な理由の番号を1つだけ選んで○をつけてください。

- お子さんの身の回りの世話を主にしている方が
1. 現在就労している
  2. 就労予定がある／求職中である
  3. 家族・親族などを介護しなければならぬ
  4. 病気や障害を持っている
  5. 学生である
  6. 1～5までの事情はないが、子どもの教育のため
  7. その他( )

利用状況及び利用している理由について。本設問では「日中の定期的な保育」に限定して把握。問9-1の選択肢「10.ベビーシッター」及び「11.ファミリーサポートセンター」については、問17及び問18により、利用実態及び理由を把握。延長保育のニーズ増大や短時間保育ニーズ等を把握する場合に用いる。その場合、当該自治体で実施している延長・夜間等のサービス提供時間帯に即して、問9-2の回答を分類する必要が有る。

問9-1で利用しているサービスの組み合わせパターンを作り、そのパターンごとに、問9-3の利用理由を分析することが可能。

問9-4は、問9で「2. 利用していない」を選ばれた方にお伺いします。

問9-4 保育サービスを利用していない理由は何ですか。主な理由の番号を1つだけ選んで○をつけてください。

1. (子どもの母親が父親が就労していないなどの理由で) 必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 預けたいが、保育サービスに空きがない
5. 預けたいが、経済的な理由でサービスを利用できない
6. 預けたいが延長・夜間等の場所や時間帯の条件が整わない
7. 預けたいが、サービスの質や場所など、納得できるサービスがない
8. 子どもがまだ小さいため。( 歳くらいになったら預けようと考えている )
9. その他( )

問9-1で利用しているサービスの組み合わせパターンを作り、そのパターンごとに、問9-4の利用していない理由を分析することが可能。ニーズ推計で求めた当座ニーズと現状ニーズのギャップの背景を分析することが可能。

サービスの利用希望について、すべての方にお伺いします。

問10 封筒の宛名のお子さんに関して、今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、(利用日数・回数や利用時間が)足りないと思う保育サービスはどれですか。現在就労していないが、今後就労希望のある方は、就労した機会を想定してお答えください。次の中からあてはまる答えの番号を選んで○をつけてください。

【日中の定期的保育】

- |  |   |
|--|---|
| 1. 認可保育所<br>(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)              | 8 幼稚園(通常の就園時間)                                  |
| 2. 家庭的な保育<br>(保育ママ：保育者の家庭等で子どもを預かるサービス)                    | 9 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かるサービス)                |
| 3. 事業所内保育施設<br>(企業が従業員用に運営する施設)                            | 10. 延長保育  |
| 4. 自治体の認証・認定保育施設<br>(認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)             | 11. ベビーシッター                                     |
| 5. 認定こども園<br>(共通利用時間のみ保育の利用)<br>(保育施設と幼稚園が一体化した施設)         | 12. ファミリーサポートセンター(地域住民による子どもの預かりサービス)           |
| 6. 認定こども園<br>(共通利用時間(4時間程度)以上の保育の利用)<br>(保育施設と幼稚園が一体化した施設) | 【その他保育】   |
| 7. その他の保育施設  | 13. 一時預かり<br>(私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを預かるサービス) |
|  | 14. 病児・病後児保育<br>(子どもの病気時の保育)                    |
|  | 【その他】   |
|  | 15. 特になし  |

子育て支援サービスの利用希望を把握。問10-1と合わせて保育所に対するニーズとして、通常保育事業、延長保育事業、夜間保育事業、特定保育事業のニーズを、また、トワイライトステイ事業などのニーズを把握することができる。主な希望サービスについては、地域のサービス資源を勘案し、当該自治体の独自施策も含める等、選択肢を工夫することが必要。

就学前児童票(案)

問10-1及び問10-2は、問10で「1」～「11」の選択肢を選んだ方にお伺いします。選択されたサービスそれぞれについてお答えください。

問10-1 今後の利用希望についてお伺いします。1週あたり何日、1日あたり何時間(何時から何時まで)保育サービス(延長保育なども含めず)を希望しますか。枠内に具体的な数字でお答えください。時間は、必ず 9:00～18:00(例)のように24時間制でご記入ください。

選択したサービス番号

1週あたり  日 1日あたり  時間 (  時～  時 )

選択したサービス番号

1週あたり  日 1日あたり  時間 (  時～  時 )

問10-2 サービスを利用したいと考えている理由はどのようなことですか。次の中からもっともあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1. 現在就労している
2. 現在就労しているが、もっと日数や時間を増やしたい
3. 就労予定がある/求職中である
4. そのうち就労したいと考えている
5. 就労していないが、子どもの教育などのために子どもを預けたい
6. 家族・親族などを介護しなければならぬ
7. 病気や障害を持っている
8. 学生である/就学したい
9. その他 ( )

封筒の宛名のお子さんの土・休日の保育について、すべての方に希望をお伺いします。

問11 封筒のあて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、保育サービスなど(一時的な利用は除きます)の利用希望がありますか。  
※保育サービスなどとは、保育所、幼稚園、認可外施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

【土曜日】

1. ほぼ毎週利用したい } 利用したい時間帯をお答えください。  
2. 月に1～2回は利用したい } (  時から  時まで )  
3. 利用希望はない

【日曜日・祝日】

1. ほぼ毎週利用したい } 利用したい時間帯をお答えください。  
2. 月に1～2回は利用したい } (  時から  時まで )  
3. 利用希望はない

延長保育の潜在ニーズ推計や、短時間での潜在的ニーズを把握する場合に用いる。その場合、当該自治体で実施している延長・夜間等のサービス提供時間等に即して、問10-1の回答を分類する必要がある。回答者は適宜追加する。

問10で利用したいサービスの組み合わせパターンを作り、そのパターンごとに問10-2の利用希望理由を分析することが可能。さらに、問9のサービス利用状況と合わせて分析することが可能。

土曜日及び日曜日、休日の保育ニーズを把握。

就学前児童票(案)

4. 宛名のお子さんの病児・病後児保育についてお伺いします。

問12 保育サービスを利用している保護者の方にお伺いします。この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の保育サービス(問7-2の定義参照)が利用できなかったことはありますか。

1- あった ----- ( ← 問12-1, 2, 4 )  
2- なかった ----- ( ← 問12-3 )

この1年間の、お子さんが病気やケガで通常の保育サービスが利用できなかった場合の対処方法と、仕事を休んだ日数はどれくらいありましたか。父親、母親等それぞれについてお答えください。

問12-1 この1年間の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。(半日程度についても1日としてカウントしてください)

問12-2 「父親または母親が休んだ」、「親族・知人に預けた」欄に回答された方に伺います。その際、できれば施設に預けたいと思われた日数はどれくらいありますか。枠内に日数を記入してください。

↓

1. 父親が休んだ	<input type="text"/> 日	}	⇒	できれば施設等に預けたい	<input type="text"/> 日
2. 母親が休んだ	<input type="text"/> 日				<input type="text"/> 日
3. (配偶者を名 ず) 親族・知人 に預けた	<input type="text"/> 日				<input type="text"/> 日

↓

4. 就労していない保護者がみだ	<input type="text"/> 日
5. 病児・病後児の保育サービスを利用した (保育所で実施しているサービスを含む)	<input type="text"/> 日
6. ベビーシッターを頼んだ	<input type="text"/> 日
7. ファミリーサポートセンターにお願いした	<input type="text"/> 日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> 日
9. その他 ( )	<input type="text"/> 日

病児・病後児保育の推計ニーズ量の算出のための項目。現状の利用量は、問12-1の選択肢5の日数。潜在ニーズ推計のため、子どもが病気やケガで通常の保育サービスが受けられなかったときの対処方法及び日数を把握。父親・母親が休んだ日数及び親族・知人に預けた日数のうち、施設等に預けたい日数を病児・病後児の潜在利用ニーズとして用いることも可能。自治体の判断により、潜在ニーズをより広くとってまかまわない。

就学前児童票(案)

就学前児童票(案)

5. すべての方に、宛名のお子さんの一時預かりのことについてお伺いします。

問13 この1年間で、私用(買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など)やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。(半日程度についても1日としてカウントしてください)

1. ある → 年間  日

理由別)

- ① 私用(買物、習い事等)、リフレッシュ目的  日
- ② 冠婚葬祭、子どもの親の病気  日
- ③ 就労  日

2. ない

一時預かりの推計ニーズ算出のための項目。現状は、問13の「1.」の日数で家族類型別の利用実態を把握。滞在ニーズは、問14で回答した人の日数。

問14 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思えますか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

月に  日くらい

6. すべての方に、宛名のお子さんの宿泊を伴う一時預かりのことについてお伺いします

問15 この1年間に、保護者の用事などにより、宛名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならぬことはありましたか。

1. あった(預け先が見つからなかった場合を含む) (← 問15-1, 2へ)

2. なかった (← 問16へ)

ショートステイの推計ニーズ算出のための項目。ショートステイを必要とした場合の対処方法及び日数、親族・知人が対応した場合の困難度を把握。この困難度は、推計ニーズ算出にあたっての優先順位をつける際に活用。

問15-1 この1年間の対処方法とそれぞれの泊数は概ね何日ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。

問15-2 この場合の困難度はどの程度でしたか。(あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。)

1. (同居者を含む) 親族・知人に預けた  泊

1. 非常に困難    2. どちらかというと困難    3. 特に困難ではない

2. 保育サービス(※右下注)を利用した  泊

3. 仕方なく子どもも同行させた  泊

4. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた  泊

5. その他( )  泊

※ショートステイ事業を実施している施設、認可外保育施設、ベビーシッターなど

7. 来年度就学予定の児童を持つ保護者の方にお伺いします。

問16 宛名のお子さんについて、小学校入学以降の放課後の過ごし方について、放課後児童クラブを利用したいと思えますか。  
 [放課後児童クラブ…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により風聞家庭にいない場合などに、指導員の下、子ども(おおむね10歳未満)の生活の場を提供するものです。]

1. 利用したい → 週  日くらい

当該自治体における就学前児童のサービスニーズと就学児童のサービスニーズの差を把握するために活用

2. 利用予定はない

就学前児童票(案)

8. すべての方に、ベビーシッターの利用についてお伺いします。

ベビーシッターを利用していらっしゃる方にお伺いします。

問17 どのような目的で利用していらっしゃいますか。あてはまる番号すべてに○をおつけください。

1. 主たる保育サービスとして利用している
2. 保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している(朝・夕等)
3. 子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している
4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している
5. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している
6. その他の目的で利用している

問17-1 どれくらいの頻度で利用していらっしゃいますか。枠内に数字をご記入ください。

月に  日くらい 1回あたり  時間程度

9. すべての方に、ファミリーサポートセンターの利用についてお伺いします。

問18 ファミリーサポートセンターを利用していますか

1. 利用している (← 問18-1,2,3へ)
2. 利用していない (← 問18-4へ)

問18-1 どのような目的で利用していらっしゃいますか。あてはまる番号すべてに○をおつけください。

1. 主たる保育サービスとして利用している
2. 保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している(朝・夕等)
3. 子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している
4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している
5. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している
6. 保育施設等の送り迎えに利用している
7. その他の目的で利用している

問18-2 どれくらいの頻度で利用していらっしゃいますか。枠内に数字をご記入ください。

月に  日くらい 1回あたり  時間程度

問18-3 利用日数・回数を増やしたいと思いませんか。希望がある場合は枠内に数字をご記入ください。

月に  時間くらい

問18-4 今は利用していないが、できれば利用した方は、枠内に数字をご記入ください。

月に  時間くらい

ベビーシッターの推計二重算出のための項目。現状は、問17に回答した人の割合と問17-1の日数・時間で家族類型別の利用実態を把握。潜在希望利用率は、問10で把握。

ファミリーサポートセンターの推計二重算出のための項目。現状は、問18で「1」と回答した人の割合と問18-1の日数・時間で家族類型別の利用実態を把握。潜在希望利用率及び二重算出は、問18-3及び18-4で把握。

就学前児童票(案)

10. すべての方にお伺いします。

問19 封筒の宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、つどいのひろば、子育て支援センター等と呼ばれています)を利用していますか。次の中から、利用されているものに○をつけてください。また、おおよその利用回数(頻度)をご記入ください。

1. 地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場) 1週あたり  回
2. その他当該自治体で実施している同様の事業(具体名) 1週あたり  回
3. 利用していない

問20 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

1. 地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場) 1週あたり  回
2. その他当該自治体で実施している同様の事業(具体名) 1週あたり  回
3. 特になし

問19で「3. 利用していない」を選んだ方にお伺いします。

問20-1 現在利用していない理由はどのようなことですか。次の中からもっともあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

1. 利用したいサービスが地域にない
2. 地域のサービスの質に不安がある
3. 地域のサービスの利便性(立地・開催時間・日数等)が悪く利用しづらい
4. 利用料がかかる
5. 自分がサービスの対象者になるのかどうかかわらない
6. 時間がない
7. サービスの利用方法(手続き等)がわからない
8. その他
9. 特に理由はない

子育て支援サービスの認知度・利用率についてお伺いします。

問21 下記のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後、利用したいと思いませんか。サービスごとに、A~Cのそれぞれについて、「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

	A 知っている		B これまでに利用したことがある		C 今後利用したい	
①母親学級、両親学級、育児学級	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
②保健センターの情報・相談サービス	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
④教育相談センター・教育相談室	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑥児童館	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑦子育ての総合相談窓口	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑧自治体が発行している子育て支援情報誌	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑨育児支援家庭訪問事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑩〇〇〇事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑪〇〇〇〇サービス	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ

地域子育て支援拠点事業の利用実態及び利用希望について把握。

保育以外の子育て支援サービスの認知度、利用実態及び利用希望について把握。地域のサービス資源を勘案し、当該自治体の独自施策を含める等、適宜工夫することが必要。

就学前児童票(案)

11. 育児休業制度の利用についてお伺いします。

問22 封筒の宛名のお子さんについて、母親又は父親が育児休業制度を利用なさいましたか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。

- 1. 母親が利用した
- 2. 父親が利用した (← 問22-1へ)
- 3. 母親と父親の両方が利用した
- 4. 利用しなかった

問22-1 及び問22-2は、母親又は父親が育児休業を取得されていた方についてお伺いします。

問22-1 育児休業から復帰なさったとき、お子さんの月齢は何ヶ月でしたか。枠内に、具体的に数字でご記入下さい。(お子さんが1歳以上の場合も月に換算してお答えください。問22で「3.」とお答えになった方は、最後の育児休業利用者が復帰された時についてお答えください。)

子どもは  ヶ月だった

問22-2 育児休業明けに、希望する保育サービスをすぐ利用できましたか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。

- 1. 育児休業期間を調整せずにできた
- 2. 育児休業期間を調整したのでできた (← 問22-3へ)
- 3. できなかった (← 問22-4へ)
- 4. 希望しなかった

問22-3 「2. 育児休業期間を調整したのでできた」を選ばれた方にお伺いします。育児休業明けに希望する保育サービスが確実に利用できたとしたら、育児休業は実際に取得した期間と変わりましたか。あてはまる答えの番号に○をつけ、「2.」及び「3.」を選ばれた方は、枠内に数字でご記入ください。

1. 変わらない 2. 長くした  ヶ月 3. 短くした  ヶ月

問22-4 「3. できなかった」を選ばれた方にお伺いします。どのように対応されましたか。

- 1. 希望とは違う認可保育所を利用した
- 2. 事業所内の保育サービスを利用した
- 3. 上記以外の保育サービスを利用した
- 4. 家族等にみてもらうことで対応した
- 5. 仕事を辞めた

※ニーズ把握のための設問は以上です。以下には、子育てに関する意識などに関する設問を、市区町村で任意に加えてください。なお、保育所などの利用満足度に関する設問などは、施設などを通じて利用者の方に別の調査を行うことも可能です。

育児休業制度利用と保育サービスの利用ニーズとの関係を分析することが可能。

就学児童票(案)

- 注)  潜在ニーズの把握のための項目として設定することが必要。  
 潜在ニーズの詳細な分析に必要な項目であり、自治体の必要性に応じ設定。  
 基本的にニーズ推計には直接用いないが、ニーズの背景等を分析するために、自治体の必要性に応じ設定。

1. 封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてお伺いします。

問1 封筒のあて名のお子さんの生年月をお伺いします。

平成   年   月 生まれ

問2 封筒のあて名のお子さんを含め、おさんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢(平成〇年4月1日現在の年齢)をご記入下さい。

人 末子の年齢  歳

問3 宛名のお子さんとの同居・近居(概ね30分以内程度に行き来できる範囲)の状況についてお伺いします。統括はあて名のお子さんからみた関係です。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

- 1. 父母同居 2. 父専居ひとり暮らし 3. 母専居ひとり暮らし 4. 祖父母同居
- 5. 祖母同居 6. 祖父近居 7. 祖母近居 8. その他

問4 日頃、おさんを預かってもらえる人はいますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

- 1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる
- 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる
- 3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる
- 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる
- 5. いずれもない

問4-1は、問4で「1.」または「2.」を選ばれた方にお伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

問4-1 祖父母に預かってもらっている状況について、お伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

- 1. 祖父母が孫を預かることについては、特に問題はない
- 2. 祖父母の身体的負担が大きく心配である
- 3. 祖父母の筋力的制約や精神的な負担が大きく心配である
- 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
- 5. その他

問4-2は、問4で「3.」または「4.」を選ばれた方にお伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

問4-2 友人や知人に預かってもらっている状況について、お伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

- 1. 友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない
- 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
- 3. 友人・知人の筋力的制約や精神的な負担が大きく心配である
- 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい

周辺対象世帯の状況を把握するためのフェイス項目群。クロス集計に活用する機会が多いと考えられるため設定してあるが、当該自治体の問題意識に応じて取捨選択すること。

宛名の子どもの年齢を把握。年齢別の推計ニーズ量を算出したい場合に活用。  
 世帯の子どもの人数及び末子の年齢を把握。将来の母親の再就業時期等を把握したい場合などに活用。

家庭内の支援の可能性の観点から同居の祖父母等の有無を把握。核家族か三世帯家族か、ひとり親世帯かを区別する。家族類型の設定に活用。

友人や他職の支援の可能性の観点から把握。日常的あるいは緊急時に預け先があるかどうかを把握する。家族類型を詳細に設定したい自治体で活用。

ライフスタイルの変型希望(身内や友人・知人からの支援に関する将来の考え方)を把握する。ニーズ推計において、家族類型を詳細に設定したい自治体では、潜在家族類型設定に活用。

問4-1に同じ

就学児童票(案)

就学児童票(案)

5. その他

問5 あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方として、あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。続柄は宛名のお子さんから見た関係です。

1. 主に父親    2. 主に母親    3. 主に祖父母    4. その他

問 お住まいの地区としてあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 〇〇    2. 〇〇    3. 〇〇    4. 〇〇  
5. 〇〇    6. 〇〇    7. 〇〇    8. 〇〇

保育等の発生ニーズにもっとも影響が大きい保護者を特定。

保育等のニーズを地区別に集計するために把握。集計段階で行政の地区区分に集計するなどの工夫が必要。

2. 封筒の宛名のお子さんの親御さんの就労状況についてお伺いします。

問6 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお伺いします。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。併せて、〔 〕に数字の記入をお願いします。

(1) 父親

1. 就労している（フルタイム；育児・介護休業中は含まない）
  - 1週当たりの平均的就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間についてお伺いします。  
〔 1週当たり〔 〕時間、帰宅時間〔 〕時間 〕
2. 就労している（フルタイムだが育児・介護休業中）
3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）
  - 就労時間についてお伺いします。  
〔 1週当たり〔 〕日 ・ 1日当たり〔 〕時間 〕
  - フルタイムへの転換希望がありますか。  
〔 ① 希望がある    ② 希望があるが予定はない    ③ 希望はない 〕
4. 以前は就労していたが、現在は就労していない
5. これまでに就労したことがない

(2) 母親

1. 就労している（フルタイム；産休・育児・介護休業中は含まない）
  - 1週当たりの平均的就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間についてお伺いします。  
〔 1週当たり〔 〕時間、帰宅時間〔 〕時間 〕
2. 就労している（フルタイムだが産休・育児・介護休業中）
3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）
  - 就労時間についてお伺いします。  
〔 1週当たり〔 〕日 ・ 1日当たり〔 〕時間 〕
  - フルタイムへの転換希望がありますか。  
〔 ① 希望がある    ② 希望があるが予定はない    ③ 希望はない 〕
4. 以前は就労していたが、現在は就労していない
5. これまでに就労したことがない

保護者の就労の状況を把握。ニーズ推計において家族類型の作成に活用。

就労時間、帰宅時間については直接ニーズの推計には使用しないが、働き方に關する現状の把握や地域住民の生活実態の把握に活用。その場合、合わせて父母の「家事・育児時間」や「子どもと過ごす時間」、「1週間のうち夕食を家族で取る回数」などを把握することも考えられる。



就学児童票(案)

問7は、問6の「(2) 母親」で「4. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「5. これまでに就労したことがない」を選ばれた方にお伺いします。該当しない方は、問8へお進みください。

問7 母親の就労希望はありますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 有(すぐにも若しくは1年以内に希望がある)	(→ 問7-1へ)
2. 有(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)	(→ 問7-1へ)
3. 無	(→ 問8へ)

母親の就労希望について把握。ニーズ推計において、ライフスタイルの変更希望の1つの要素として、家族類型(変更希望)の設定に活用(問7、問7-1)

問7-1及び問7-2は、問7で「1. 有(すぐにも若しくは1年以内に希望がある)」、「2. 有(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)」を選ばれた方にお伺いします。

問7-1 就労希望の形態はどのようなものですか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。(パート、アルバイトを希望の方は一週当たり日数及び一日当たり時間も記入してください。)

1. フルタイムによる就労
2. パートタイム、アルバイト等による就労(週当たり〔 〕日・一日当たり〔 〕時間)

問7-2 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。もっとも近い答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 放課後児童クラブなどのサービスが利用できれば就労したい
2. 働きながら子育てできる適当な仕事がない
3. 自分の知識、能力にあう仕事がない
4. 家族の考え方(親族の理解が得られない)等就労する環境が整っていない
5. その他( )

就労希望のうち、保育サービスが前提と考える者の把握等に活用。

問7-3は、問7で「2. 有(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)」を選ばれた方にお伺いします。

問7-3 宛名のお子さんも含めて一番小さい子が何歳になったときに就労を希望されますか。

<input type="text"/> 歳になったとき
------------------------------

就学児童票(案)

3. 放課後児童クラブの利用についてお伺いします。

問8 宛名のお子さんについて、現在、放課後児童クラブを利用していますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。  
【放課後児童クラブ…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下で、子ども(おおむね10歳未満)の生活の場を提供するものです。問8-5の「放課後子ども教室」と連携して実施されている場合があります。】

1. 利用している	(→ 問8-1へ)
2. 利用していない	(→ 問8-2へ)

問8-1 上記の間で「1. 利用している」を選ばれた方にお伺いします。宛名のお子さんについて、放課後児童クラブの利用日数はどれくらいですか。また、利用していらっしゃる理由について、あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

週 <input type="text"/> 日くらい	—	うち土・日の利用	1. ある
			2. ない

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1. 現在就労している
2. 就労予定がある/求職中である
3. 家族・親族などを介護しなければならぬ
4. 病気や障害を持っている
5. 学生である
6. その他( )

問8-2 上記の間で「2. 利用していない」を選ばれた方にお伺いします。利用していない理由について、もっともあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1. 現在就労していないから
2. 就労しているが、放課後児童クラブを知らなかったから
3. 就労しているが、近くに放課後児童クラブがないから
4. 就労しているが、放課後児童クラブに空きがないから
5. 就労しているが、放課後児童クラブの開所時間が短いから
6. 就労しているが、利用料がかかるから
7. 就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているから
8. 就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから
9. 就労しているが、他の施設に預けているから
10. その他( )

就学児童票(案)

問8-3 問8で「2. 利用していない」を選ばれた方にお伺いします。宛名のお子さんについて、今後、放課後児童クラブを利用したいとお考えですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。

1. 利用したい → 週  日くらい {うち土・日の利用希望 1. ある 2. ない}

2. 今後も利用しない

問8-4 今後放課後児童クラブを利用したい理由について、もっともあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

- 現在就労している
- 就労予定がある/求職中である
- そのうち就労したいと考えている
- 家族・親族などを介護しなければならない
- 病気や障害を持っている
- 学生である/就学したい
- 就労していないが、子どもの教育などのために預けたい
- その他 ( )

問8-5 地域によっては、放課後児童クラブと連携して行うサービスとして『放課後子ども教室』がありますが、その利用意向はありますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。  
〔放課後子ども教室…すべての子どもを対象として、安心・安全な子どもの居場所を提供し、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の取組をするものです。〕

1. 意向がある → 週  日くらい

2. 意向がない

3. 対象のサービスがない

問9 宛名のお子さんについてお伺いします。小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。

- 放課後児童クラブを利用したい  
(1.を選ばれた方) → 小学  年生まで利用したい
- 放課後子ども教室を利用したい
- クラブ活動など習い事をさせたい
- 利用を希望するサービスは特にない
- その他 ( )

就学児童票(案)

4. 宛名のお子さんの病児・病後児の対応についてお伺いします。

問10 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。

1. あった ----- (問10-1, 2, 4)

2. なかった ----- (問11)

この1年間の、お子さんが病気やケガで学校を休んだり、放課後児童クラブなどの預かりサービスが利用できなかった場合の対処方法と、仕事を休んだ日数はどれくらいありましたか。父親、母親等それぞれについてお答えください。

問10-1 この1年間の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。  
(半日程度についても1日としてカウントしてください)

問10-2 「父親または母親が休んだ」、「親族・知人に預けた」欄に回答された方に伺います。その際、できれば施設に預けたいと思われた日数はどれくらいありますか。枠内に日数を記入してください。

1. 父親が休んだ	<input type="text"/>	日
2. 母親が休んだ	<input type="text"/>	日
3. (母息者を含む) 親族・知人に預けた	<input type="text"/>	日
} → できれば施設等に預けたい <input type="text"/> 日		
4. 就労していない保護者がみた	<input type="text"/>	日
5. 病児・病後児の保育サービスを利用した (保育園で実施しているサービスを含む)	<input type="text"/>	日
6. ベビーシッターを頼んだ	<input type="text"/>	日
7. ファミリーサポートセンターにお願いした (地域住民による子どもの預かりサービス)	<input type="text"/>	日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/>	日
9. その他 ( )	<input type="text"/>	日

病児・病後児保育の推計ニーズ量の算出のための項目。現状の利用量は、問12-1の選択肢5の日数。潜在ニーズ推計のため、子どもが病気やケガで学校を休んだり、放課後児童クラブなど通常のサービスが受けられなかったときの対処方法及び日数を把握。父親・母親が休んだ日数及び親族・知人に預けた日数のうち、施設等に預けたい日数を病児・病後児の潜在利用ニーズとして用いることも可能。自治体の判断により、潜在ニーズをより広くとってまかなない。

就学児童票(案)

5. すべての方に、宛名のお子さんの一時預かりのことについてお伺いします。

問11 この1年間で、私用(買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など)やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。(半日程度についても1日としてカウントしてください)

1. ある 一年間  日 (理由別)

① 私用(買物、習い事等)、リフレッシュ目的  日

② 冠婚葬祭、子どもの親の病気  日

③ 就労  日

2. ない

一時預かりの推計ニーズ算出のための項目。現状は、問11の「1」の日数で家族類型別の利用実態を把握。潜在ニーズは、問12で回答した人の日数。

問12 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いませんか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

月に  日くらい

6. すべての方に、宛名のお子さんの宿泊を伴う一時預かりのことについてお伺いします

問13 この1年間で、保護者の用事などにより、宛名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。

1. あった(預け先が見つからなかった場合を含む) (←問13-1,2へ)

2. なかった (←問13へ)

ショートステイの推計ニーズ算出のための項目。ショートステイを必要とした場合の対処方法及び日数、親族・知人が対応した場合の困難度を把握。この困難度は、推計ニーズ算出にあたっての優先順位をつける際に活用。

問13-1 この1年間の対処方法とそれぞれの泊数は概ね何日ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。

問13-2 その場合の困難度はどの程度でしたか。(あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。)

1. (同居者を含む)親族・知人に預けた  泊

1.非常に困難 2.どちらかというと困難 3.特に困難ではない

2. 保育サービス(※右下注)を利用した  泊

3. 仕方なく子どもも同行させた  泊

4. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた  泊

5. その他( )  泊

※ショートステイ事業を実施している施設、認可外保育施設、ベビーシッターなど

就学児童票(案)

7. ベビーシッターを利用している方にお伺いします。

問14 どのような目的で利用していらっしゃいますか。あてはまる番号すべてに○をおつけください。

1. 子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している
2. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している
3. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している
4. その他の目的で利用している

ベビーシッターの推計ニーズ算出のための項目。現状は、問14に回答した人の割合と問14-1の日数・時間で家族類型別の利用実態を把握。潜在希望利用率は、問15で把握。

問14-1 どれくらいの頻度で利用していらっしゃいますか。枠内に数字をご記入ください。

月に  日くらい 1回あたり  時間程度

問15 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いませんか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

月に  日くらい

8. すべての方に、ファミリーサポートセンターの利用についてお伺いします。

問16 ファミリーサポートセンターを利用していますか

1. 利用している (←問16-1,2,3へ)

2. 利用していない (←問16-4へ)

ファミリーサポートセンターの推計ニーズ算出のための項目。現状は、問16で「1」と回答した人の割合と問16-1の日数・時間で家族類型別の利用実態を把握。潜在希望利用率及びニーズ量は、問16-3及び16-4で把握。

問16-1 どのような目的で利用していらっしゃいますか。あてはまる番号すべてに○をおつけください。

1. 主たる保育サービスとして利用している
2. 保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している(朝・夕等)
3. 子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している
4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している
5. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している
6. 保育施設等の送り迎えに利用している
7. その他の目的で利用している

問16-2 どれくらいの頻度で利用していらっしゃいますか。枠内に数字をご記入ください。

月に  日くらい 1回あたり  時間程度

問16-3 利用日数・回数を増やしたいと思いませんか。希望がある場合は枠内に数字をご記入ください。

月に  時間くらい

問16-4 今は利用していないが、できれば利用した方は、枠内に数字をご記入ください。

月に  時間くらい